

10. 自己評価

2017年度（平成29年度）

自己点検・評価報告書

学校法人 中村学園

ジェイヘアメイク専門学校

## 1. 学校の教育目標

ホスピタリティ精神を持ち、美容技術を身に付けた人材の育成

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

新カリキュラムの導入と学生指導の見直しから着手する。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

1. <教育理念・目標>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)
1	1	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか	④	3	2	1	文書 NO.1 (ライフマニュアル)
1	2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	③	2	1	文書 NO.1 (ライフマニュアル) 文書 NO.2 (入学案内書)
1	3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1	文書 NO.2 (入学案内書) 文書 NO.3 (保護者会資料)

### ①課題

1-2・3 今年度は教員増を図り、教育体制の充実を目指す。新旧職員が一体となって学校運営に取り組む事が課題となっている。

### ②今後の改善方策

1-2 新旧教職員が教育方針の共有、意見交換をする場を増やす。教務室会議・職員会議・室長リーダー会議を設定し共有を図る。

1-3 新入生の保護者会を実施した。2年次、就職保護者説明会の実施に向けて準備を進めていく。

### ③特記事項

特になし

2. <学校運営>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)
2	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1	文書 NO.4 (重点方針)
2	2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1	文書 NO.4 (重点方針) 文書 NO.5 (会議議事録)
2	3	学校運営に関する(事業計画、予算編成、教育活動等)に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	④	3	2	1	文書 NO.6 (情報公開 3・6)
2	4	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	4	③	2	1	文書 NO.7 (就業規則) 文書 NO.8 (人事規定)
2	5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1	文書 NO.6 (情報公開 8・9) 文書 NO.9 (個人情報保護規定)
2	6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1	文書 NO.6 (情報公開)

①課題

2-1 教員増を図った本年度は、新たな意見にも耳を傾け、新旧職員のなかで教育方針の共有が必要。  
 2-2 学校運営の財務状況のバランスが良いとはいえ、改善が必要。  
 2-4 一部変更となっている就業規則等の認識確認と人事考課に関する内容確認が必要。

②今後の改善方策

2-1・2・4 教職員のなかで意見交換と情報共有の場として会議や MTG を設置し、学校運営全体への理解を深めていく。

③特記事項

特になし

3. <教育活動>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)
3	1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	文書 NO.1 (ライフマニュアル) 文書 NO.6 (情報公開 6-4)
3	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1	文書 NO.10 (カリキュラム表)
3	3	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1	文書 NO.1 (ライフマニュアル) 文書 NO.10 (カリキュラム表)

3	4	講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	4	3	②	1	文書 NO. 11 (シラバス)
3	5	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	4	③	2	1	文書 NO. 12 (授業改善アンケート)
3	6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか	4	③	2	1	文書 NO. 12 (授業改善アンケート)
3	7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1	文書 NO. 6 (情報公開 6-4)
3	8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	文書 NO. 1 (ライフマニュアル)
3	9	人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1	文書 NO. 13 (教員担当教科科目一覧)
3	10	各種美容団体、協会、企業との連携による優れた教員(本務・兼務含む)を確保するための活動が行われているか	4	③	2	1	文書 NO. 6 (情報公開 6-4)
3	11	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1	文書 NO. 14 (研修関連資料)
3	12	カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか	4	③	2	1	文書 NO. 10 (カリキュラム) 文書 NO. 15 (時間割) 文書 NO. 16 (練習・補講申請書)
3	13	講義に関し養成施設の指定条件、指導要領に則したカリキュラムが実施されているか	4	③	2	1	文書 NO. 10 (カリキュラム表) 文書 NO. 11 (シラバス)
3	14	実習に関し養成施設の指定条件、指導要領に則したカリキュラムが実施されているか	4	③	2	1	文書 NO. 10 (カリキュラム表) 文書 NO. 11 (シラバス)
3	15	学習意欲があるかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	4	③	2	1	文書 NO. 17 (入学選考談シート)
3	16	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか	4	③	2	1	文書 NO. 9 (個人情報保護規定) 文書 NO. 18 (NACS 学生情報システム-権限設定)

①課題

3-3・4 シラバスの内容充実と外部への情報公開が課題

3-16 企業実習に関する規定を見直し整備することと、教職員や学生への共有が課題

②今後の改善方策

3-3・4 シラバスのフォームを改善し、より具体的な内容に変更し、外部への情報公開も実施していく。  
 3-16 企業実習の現状を改めて調査し、企業と学生双方の立場で見直しを図り、規定の見直しと体制を整えていく。

③特記事項

特になし

4. <学修成果>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)
4	1	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1	文書 NO.6 (情報公開 6-3)
4	2	資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1	文書 NO.6 (情報公開 6-2) 文書 NO.19 (国家試験結果)
4	3	入学者に対する卒業率はどうか	4	③	2	1	文書 NO.6 (情報公開 6-1) 文書 NO.20 (公式ガイドブック)
4	4	在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか	4	3	②	1	文書 NO.21 (KHP・FFF)
4	5	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	③	2	1	文書 NO.1 (ライフマニュアル)
4	6	教育及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	4	3	②	1	文書 NO.22 (講師派遣指導委託協定書)

①課題

4-3 中退率防止に向け課題を確認し、改善を図る。

②今後の改善方策

4-3 学生指導の見直しと個人面談を実施していく。学習目的や到達目標を明確にし、意欲的に取り組めるよう指導していく。

③特記事項

特になし

5. <学生支援>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか	4	3	②	1	文書 NO. 23 (就勝塾 PPT)
5	2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1	文書 NO. 6 (情報公開 7-2) 文書 NO. 24 (健康診断実施関連書類)
5	3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	③	2	1	文書 NO. 25 (募集要項)
5	4	学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1	文書 NO. 1 (ライフマニュアル) 文書 NO. 6 (情報公開 7-2)
5	5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	文書 NO. 6 (情報公開 7-1) 文書 NO. 26 (SAM 活動資料)
5	6	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	4	③	2	1	文書 NO. 25 (募集要項)
5	7	保護者との連携は適切か	4	③	2	1	文書 NO. 3 (保護者会)
5	8	卒業生への支援体制はあるか	4	3	②	1	文書 NO. 26 (既卒対象の求人資料)
5	9	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1	文書 NO. 20 (公式ガイドブック)

①課題

5-1 就職活動支援体制の確立と学生、保護者への情報共有が課題

5-8 学校運営3年目ということもあり、これから卒業生への支援体制と関わり方を検討していく。

②今後の改善方策

5-1 就職活動マニュアルの作成や、事前指導の強化を図っていく。就職保護者説明会を実施する。

5-8 卒業生への支援として、離職率の調査とその後の転職支援を検討していく。

③特記事項

特になし

6. <教育環境>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1	文書 NO.2 (入学案内書) 文書 NO.27 (標準器具一覧)
6	2	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1	文書 NO.28 (緊急地震マニュアル) 文書 NO.29 (備蓄品一覧)
6	3	実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか	④	3	2	1	文書 NO.27 (標準器具一覧)
6	4	美容実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか	④	3	2	1	文書 NO.2 (入学案内書) 文書 NO.27 (標準器具一覧)
6	5	自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	4	③	2	1	文書 NO.30 (図面資料)
6	6	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	4	3	②	1	文書 NO.27 (標準器具一覧)
6	7	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4	③	2	1	文書 NO.15 (時間割) 文書 NO.31 (デスクネット設備予約)
6	8	国内外の美容関連企業と連携した実践的な教育プログラムを提供しているか	4	③	2	1	文書 NO.32 (教育提携資料)

①課題

特になし

②今後の改善方策

6-1 ~ 8 継続して整備していく。

③特記事項

特になし

7. <学生の受入れ募集>				適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1	文書 NO. 2 (入学案内書) 文書 NO. 25 (募集要項)	
7	2	学納金は妥当か	4	③	2	1	文書 NO. 25 (募集要項)	
7	3	障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか	4	3	②	1	文書 NO. 18 (NACS 学生情報システム-要注意者一覧)	

①課題

7-2 予算・収支計画の見直し

②今後の改善方策

7-2 予算・収支計画の見直しを図り、改善していく。  
7-3 特別な措置が必要な学生情報の共有と、対応について保護者も含め相談していく。

③特記事項

特になし

8. <財務>				適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)
8	1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	②	1	文書 NO. 33 (財務関連資料)	
8	2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1	文書 NO. 9 (個人情報保護規定)	
8	3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	③	2	1	文書 NO. 33 (財務関連資料)	
8	4	財務情報の公開の体制整備はできているか	4	③	2	1	文書 NO. 6 (情報公開 3)	

①課題

8-1・2 中長期的にバランスが取れ、さらに安定した収支にする



②今後の改善方策

8-1・2 収支計画を見直し、改善を続けていく

③特記事項

特になし

9. <法令等の遵守>		適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	エビデンス (文書名又は文書番号)			
9	1	4	③	2	1	文書 NO.6 (情報公開) 文書 NO.34 (学則)
9	2	4	③	2	1	文書 NO.9 (個人情報保護規定)
9	3	4	③	2	1	文書 NO.6 (情報公開 6-5)
9	4	4	③	2	1	文書 NO.6 (情報公開)
9	5	4	③	2	1	文書 NO.8 (人事規定)
9	6	4	③	2	1	文書 NO.8 (人事規定)
9	7	4	③	2	1	文書 NO.8 (人事規定)

①課題

特になし

②今後の改善方策

9-2 学生自身が SNS 等の利用にあたり、十分に注意していく必要性を啓蒙していく。

③特記事項

特になし

10. <社会貢献・地域貢献>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1	文書 NO.21 (KHP・FFF)

①課題

特になし

②今後の改善方策

10-1 学生が自発的に活動できる環境を考えていく。

③特記事項

特になし

11. <国際交流>			適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)
11	1	留学生への美容サービスの提供などを通じて積極的に留学生との交流を図っているか	4	3	②	1	文書 NO.35 (留学生に関する企画書)
11	2	海外の一流講師によるセミナーへの参加や学内への招へいを積極的に行っているか	4	3	②	1	文書 NO.36 (外部研修・講師派遣企画書)

①課題

11-1・2 国際交流をか検討はしているが、活動はまだ不足している。

②今後の改善方策

11-1・2 学園祭等での交流だけでなく、今後企画を検討していく。海外で活躍する企業や講師をお招きし、講義や交流をを計画していく。

③特記事項

特になし